

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年10月3日 (2013.10.3)

【公開番号】特開2012-60332(P2012-60332A)

【公開日】平成24年3月22日 (2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2010-200337(P2010-200337)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/66 1 0 2 Z

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 7 0 Q

G 0 9 G 3/20 6 4 2 B

G 0 9 G 3/20 6 3 1 U

G 0 9 G 3/20 6 4 2 P

G 0 2 F 1/133 5 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

視聴角度に対応させて輝度の補正値を記憶した補正テーブルを記憶した補正情報記憶手段と、

視聴者の位置を検出する視聴者検知手段と、

画像データを補正する制御手段と

を備えた表示装置であって、

前記視聴者検知手段において、視聴者の位置に応じた視聴角度を算出し、

前記制御手段が、前記補正情報記憶手段から、前記視聴角度に対応した補正テーブルを取得し、

前記補正テーブルを用いて画像データを補正することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記視聴者検知手段において算出した視聴角度に応じて、補正テーブルに記憶された視聴角度を補間して、輝度補正を行なうことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記視聴者検知手段において視聴者の優先順位を特定し、

優先順位が高い視聴者の位置に応じた視聴角度を算出し、

この視聴角度を用いて輝度補正テーブルを特定することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

視聴者識別情報に対応させて優先順位を記憶した視聴者情報記憶手段を更に備え、

前記視聴者検知手段において、前記視聴者情報記憶手段に記憶された視聴者識別情報を用いて視聴者を特定し、

前記視聴者情報記憶手段から、前記特定された視聴者に対応した優先順位を特定することを特徴とする請求項 3 に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記視聴者検知手段において、視聴者までの距離を算出し、

当該距離に基づいて、優先順位を特定することを特徴とする請求項 3 に記載の表示装置

。

【請求項 6】

視聴者の優先順位に基づいて加重値を決定し、

前記加重値を用いて、前記補正テーブルに記憶された補正値を修正することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 7】

所定範囲に存在する視聴者に基づいて重み付けすることを特徴とする請求項 6 に記載の表示装置。

【請求項 8】

視聴角度に対応させて輝度の補正値を記憶した補正テーブルを記憶した補正情報記憶手段と、画像データを補正する制御手段とを備えた表示装置であって、

前記補正情報記憶手段には、

前記表示装置の正面から輝度を測定した輝度に対応させた正面補正テーブルと、

前記表示装置の斜めから輝度を測定した輝度に対応させた斜め補正テーブルと、

前記正面補正テーブルと、前記斜め補正テーブルとに含まれる補正値に対して、視聴角度に応じた重み付けにより修正した統合補正テーブルを記憶させたことを特徴とする表示装置。